

報道関係者 各位



イクボス旋風！！



平成 29 年 5 月 26 日

【照会先】

厚労省ジョカツ部（女性・イクメン活躍検討チーム）

リーダー 石田 勝士（内線 7848）

（直通電話） 03(3595)3271

（E-mail）ishida-masashi@mhlw.go.jp

※雇用均等・児童家庭局 雇用均等政策課所属

【新公益連盟に関するお問い合わせ】

事務局担当：認定 NPO 法人フローレンス 岩井

（直通電話） 03(5275)1163

（E-mail）info@shinkoren.org

新公益連盟と大臣とのイクボス宣言 ～NPOにもイクボスが浸透していきます～

☆ ジョカツ部では、男女がともに働きやすい社会の実現を目指し、働き方改革のきっかけ作りとして、「イクボス宣言」を推奨しています。

※ 昨年末には、塩崎厚労大臣とともに、省内の多くの幹部がイクボスを宣言。

☆ 「日本総イクボス宣言プロジェクト」とは、イクボス宣言写真を集め P R し、日本各地のイクボスを増やす活動のことです。中央官庁や自治体、民間企業など、様々な方からイクボス宣言が沢山届いています。

☆ 今回は、本取組に強く共鳴いただいた子育て支援や女性活躍支援等に広く取り組むソーシャルセクター¹の連合団体が、イクボスを一層社会に浸透させていくとの決意を大臣とともに宣言します。あわせて、これまで届いたイクボス宣言写真を公開します。

※ 昨年 12 月 27 日のジョカツ部からの提言（3 提言）は、その大部が本年 3 月末の働き方改革実行計画に盛り込まれています。

¹ 非営利団体やソーシャルビジネスを行う企業の総称

5 月 29 日（月）（13:45～14:00（調整中）：大臣室）

マスコミフルオープン

・新公益連盟（ソーシャルセクターの連合団体）と塩崎厚労大臣とのイクボス宣言

5 月 29 日に新公益連盟（代表理事：駒崎弘樹（NPO 法人フローレンス））が塩崎厚労大臣を訪問し、大臣室でイクボス宣言を行います。NPO 内でも、是非、イクボスを増やす取り組みを行ってきたい。この取り組みが社会全体に浸み渡り、働きやすい職場作り・子育てしやすい社会作りの雰囲気が醸成されるよう応援したいとの思いからジョカツ部にオファーがあり実現したものです。

※新公益連盟とは、子どもや女性の支援、災害復興、地域活性化など様々な社会的課題に分野横断的に対応することを目的として、平成 26 年より前身の任意団体「NPO の未来をつくる会」として活動を始め、現在「新公益連盟」として法人化を進めています（70 以上の NPO 等が参加）。

・届いたイクボス宣言写真公開（目標の半分の 50 機関を超えました！！）

ジョカツ部では、昨年末に公開した「厚労省イクボス宣言動画」の社会全体版「社会全体版イクボス宣言動画」を作成するために、本年 3 月より、様々な方からのイクボス宣言を募集しています。100 機関からの宣言写真を集め、それをつなげて 1 つの動画を作成することを目標としており、半分の「50 機関を超えました」ので、これまでの宣言写真を公開します。

※ 5 月 29 日には、これに加えて、ジョカツ部提言を機に発足した厚生労働省内の働き方改革検討チーム（ジョカツ部メンバーも参画）の中間とりまとめも公表予定です。

イクボス宣言

私たちは、社会課題に立ち向かうソーシャルセクターとして社会的排除や抑圧、貧困や不正によって苦しむ人々を救済するとともに、職員をはじめ社会課題の解決をサポートする多様な人々のワーク・ライフ・バランスを支援し、ソーシャルセクターで働く人々のキャリアと人生を応援します。そして代表者自身も仕事と私生活を楽しむ、「イクボス」となります。

また、組織のダイバーシティの推進に努め、それぞれが多様な事業によって社会変革を起こすと同時に、その動きを政治や行政に共に働きかけ、制度変革へと繋げていくことで、自らもまたダイバーシティが活かされる社会の創造に寄与していくことを目指します。

2017年5月29日（月）（仮）新公益連盟 有志

認定 NPO 法人フローレンス	代表理事	駒崎 弘樹
一般社団法人 RCF	代表理事	藤沢 烈
NPO 法人トイボックス	代表理事	白井 智子
NPO 法人クロスフィールズ	代表理事	小沼 大地
認定 NPO 法人育て上げネット	理事長	工藤 啓
NPO 法人日本ファンドレイジング協会	代表理事	鶴尾 雅隆
NPO 法人 ADDS	共同代表	熊 仁美
NPO 法人 ACE	代表	岩附 由香
NPO 法人カタリバ	代表理事	今村 久美
認定 NPO 法人かものはしプロジェクト	共同代表	村田 早耶香
NPO 法人キッズドア	理事長	渡辺 由美子
一般社団法人子ども・青少年育成支援協会	代表理事	上木 誠吾
NPO 法人 G-net	代表理事	秋元 祥治
スリール株式会社	代表取締役社長	堀江 敦子
認定 NPO 法人 D×P	理事長	今井 紀明
NPO 法人テラ・ルネッサンス	理事	鬼丸 昌也
NPO 法人東京コミュニティ・スクール	理事長	久保 一之
NPO 法人虹色ダイバーシティ	代表	村木 真紀
NPO 法人発達わんぱく会	理事長	小田 知宏
NPO 法人 PIECES	代表理事	小澤 いぶき
NPO 法人ブレンヒューマニティー	理事長	能島 裕介
NPO 法人放課後 NPO アフタースクール	代表理事	平岩 国泰
NPO 法人 Homedoor	理事長	川口 加奈
NPO 法人マドレボニータ	代表理事	吉岡 マコ
一般社団法人みんなのコード	代表理事	利根川 裕太
NPO 法人 Learning for all	代表理事	李 炯植
一般社団法人ワカツク	代表理事	渡辺 一馬

新公益連盟概要

■立ち上げの背景■

超高齢化、人口減少をはじめ、緊迫した課題が山積する“課題先進国”である日本。

もはや政治や行政による解決のみに任せるのではなく、非営利団体やソーシャルビジネスを行う企業など、社会課題に立ち向かう事業者がセクターとして連帯し、社会課題の解決に取り組む必要があります。

2014年より前身の任意団体「NPOの未来をつくる会」として、NPO税制に関するシンポジウムやソーシャルビジネス経営者合宿などを行ってきましたが、このたび組織を拡大するにあたり、「新公益連盟」として法人化を進めています。



新公益連盟

Japan Association of New Public

ともに社会を変え、社会を創る。



■新公益連盟の目的■

新公益連盟は、社会課題を解決する事業者が連帯し、支え合い、共に成長し、事業によって社会変革を起こすと同時に、政治や行政に共に働きかけ、制度変革へと繋げていくことによって、社会的排除や抑圧、貧困や不正によって苦しむ人々を救済せんことを目的とします。

2016年12月 新公益連盟忘年会にて

■新公益連盟 概要■

名称 新公益連盟（略称：新公連）

英語表記：Japan Association of New Public（略称：JANP）

活動内容

●政治と社会への働きかけ

ソーシャルセクターの存在意義・影響力増加により社会課題解決を促進させる。社会課題に関わる人を増やす。

●社会課題に取り組む事業者間の連帯

ソーシャルセクターとして歩むべき道を可視化する。ソーシャルセクターの人材育成を促進し、課題解決能力を向上させる。

■新公益連盟 役員■

●代表理事・幹事

駒崎 弘樹 (特定非営利活動法人フローレンス 代表理事)

●理事・事務局長・幹事

藤沢 烈 (一般社団法人 RCF 代表理事)

●理事・幹事

小沼 大地 (特定非営利活動法人クロスフィールズ / 共同創業者・代表理事)

●理事・幹事

白井 智子 (特定非営利活動法人トイボックス / 代表理事)

栗田 拓 (特定非営利活動法人トイボックス / 代表理事)

●幹事

工藤 啓 (特定非営利活動法人育て上げネット 理事長)

●幹事

岡本 拓也 (特定非営利活動法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京 / 代表理事、特定非営利活動法人カタリバ / 常務理事)

●幹事

佐藤 大吾 (一般財団法人ジャパングビング / 代表理事)

●幹事

宮城 治男 (特定非営利活動法人工テック / 代表理事)

●幹事

鵜尾 雅隆 (特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 / 代表理事)

鴨崎 貴泰 (特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 / 事務局長)

●幹事

関口 宏聡 (特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 / 代表理事)

●監事

小俣 健三郎 (特定非営利活動法人おっちラボ / プロジェクトリーダー、弁護士)

■新公益連盟 事務局■

〒107-0051

東京都港区元赤坂 1-7-20 TTS 元赤坂ビル 3 階

一般社団法人 RCF 内 新公益連盟事務局

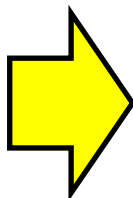
info@shinkoren.org

「働き方改革実行計画」(抄)(平成29年3月28日働き方改革実現会議決定)

ジョカツ部の3つの提言及び取組みが政府決定「働き方改革実行計画」に盛り込まれました。

提言1

働き方抜本改革法の制定
(企業情報の見える化の強化)



働き方改革実行計画(抄)

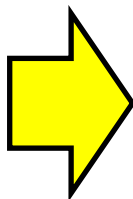
6. 女性・若者の人材育成など活躍しやすい環境整備

(2) 多様な女性活躍の推進

女性の活躍に関する企業の情報の見える化を進め、一層の女性活躍に向けた企業の取組を促進する。具体的には、労働時間や男性の育児休業の取得状況、女性の管理職比率など、女性が活躍するために必要な個別の企業の情報が確実に公表されるよう、2018年度までに女性活躍推進法の情報公表制度の強化策などについての必要な制度改正を検討する。

提言2

パパ大好き大作戦
(男性育休の取得義務化等の検討)



8. 子育て・介護等と仕事の両立、障害者の就労

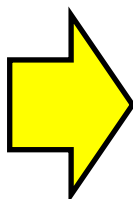
(1) 子育て・介護と仕事の両立支援策の充実・活用促進
(男性の育児・介護等への参加促進)

女性の就業が進む中で、依然として育児・介護の負担が女性に偏っている現状や男性が希望しても実際には育児休業の取得等が進まない実態を踏まえ、**男性の育児参加を徹底的に促進するためあらゆる政策を動員する。**このため、育児休業の取得時期・期間や取得しづらい職場の雰囲気改善など、ニーズを踏まえた育児休業制度の在り方について、総合的な見直しの検討に直ちに着手し、実行していく。

また、制度があっても実際には育児休業等を取得しづらい雰囲気を変えるため、育児休業の対象者に対して事業主が個別に取得を勧奨する仕組みや、育児目的休暇の仕組みを育児・介護休業法13に導入する。併せて、部下や同僚の育児・介護等に配慮・理解のある上司(イクボス)を増やすため、ロール・モデル集の作成や**イクボス宣言を広める。**

提言3

雰囲気の醸成(イクボスの普及)
(日本総イクボス宣言プロジェクトの展開)



女性が今後一層活躍するために必要なこと。それは・・・。(ジョカツ部)

昨年は、男女雇用機会均等法施行30年目の年であり、女性活躍推進法がスタートした節目の年。
均等法の施行・改正により、女性はお茶くみという時代は幕を閉じ、女活法の制定により、女性の活躍が進んできている。

⇒ しかしながら、更に、一層、女性の活躍を進めるためには、

- ①男性型雇用システムから「男女共同参画型雇用システム」への変革と、
- ②「男性の意識改革・育児・家事への一層の参画」が必要不可欠。

【女性活躍新時代を切り開くために必要なこと(イメージ図)】

会社(働き方)が変わる必要

男が変わる必要

制度改正を提言
(働き方抜本改革法の創設)
(注)

男女ともに働きやすい
職場環境整備

男性の育児参画
環境整備・意識改革

制度改正を提言
(パパ大好き大作戦)
(注)

制度があっても使いにくい・使えない

「日本に必要なのは」「一番足りないのは」、
仕事と家庭を両立しやすい雰囲気作り
⇒イクボスを広め、これをきっかけとした働き方改
革を推奨する
イクボスの輪を広げる(注)

**一億総イクボス宣言プロジェクト・
イクボス宣言動画作成**

男女雇用機会均等法
(昭和61年4月1日)

※禁止行為等の最低ラインを規定

平成
9年
改正

平成
18
年
改正

平成
27
年
改正

※女性活躍推進の状況

女性活躍推進法
(平成28年4月1日)

※より積極的なアクションを個々の企業に求める旨を規定

子育てをするパパ達の居場所
作り・仲間作りを支援

他方、イクメンという言葉
が定着し、期待されることへの
プレッシャーも(イクメンブルー)

**パパ会の開催・
イクメン応援動画作成**

女性が働ける環境整備
(例: 待機児童解消、保育園の整備)

キャリア形成支援、職業能力開発
(例: 訓練機会の提供、教育訓練給付)

復職支援、就職支援
(例: マザーズハローワークの整備)

(注) 提言の一部及びイクボス宣言の普及は本年3月の政府決定「働き方改革実行計画」に盛り込まれました。

“募集中”イクボス宣言普及へのご協力のお願い（皆様のイクボス写真をください）

経緯

- 厚生労働省では、昨年12月27日に塩崎厚生労働大臣はじめ多くの幹部・職員がイクボスを宣言するとともに、「厚生労働省イクボス応援動画」を公開。女性とイクメンの活躍推進を検討する省内若手の有志チーム「ジョカツ部」が企画。
※ 25歳～35歳の子育て世代を中心に結成。大臣直轄の検討チームの位置づけ。正式名称は、「女性・イクメン活躍検討チーム」。
- 本年3月末の政府決定「働き方改革実行計画」（平成29年3月28日働き方改革実現会議決定）において、イクボス宣言を広めていく旨が明記。政府としても、積極的にイクボス宣言を広め、働きやすい雰囲気作りに取り組みたい考え。
（参考）働き方改革実行計画（抄）
制度があっても実際には育児休業等を取得しづらい雰囲気を変えるため、育児休業の対象者に対して事業主が個別に取得を勧奨する仕組みや、育児目的休暇の仕組みを育児・介護休業法13に導入する。併せて、部下や同僚の育児・介護等に配慮・理解のある上司（イクボス）を増やすため、ロール・モデル集の作成やイクボス宣言を広める。

お願いしたい事項

- 厚生労働省ジョカツ部では、facebookやH P（イクボス宣言掲載ページ）において、**皆様からのイクボス宣言写真及び宣言内容を紹介**し、イクボス宣言の普及を進めたい考え。また、宣言写真を活用して社会全体の「イクボス応援動画」を作成したい考え。
⇒ このため、**皆様からのイクボス宣言写真を募集しています**。是非とも、ご協力をお願いします。**（以前撮影されたものでも構いません。）（様式はこだわりません）**

http://www.mhlw.go.jp/ikubosu/sengen_minasama.html

厚労省「イクボス応援動画」（イメージ）

- イクボス応援動画とは、様々な方のイクボス宣言を撮影し、これをつなげて動画として編集しているもの。（英語版あり）
本動画の社会全体版を作りたい考え。

<https://www.youtube.com/watch?v=r8hdrWW74dw&feature=youtu.be>



写真送付のお願い

- ・イクボス宣言の体裁はこだわりません。（以前宣言されたものをお送りいただいても構いません（効力が持続されているものに限る。））
- ・写真と宣言内容をお送りください。
- ・別添の宣言書は例。オリジナルのものでも構いません。

（写真の送付先）

【イクボス宣言の宛先はこちら】

jiyokatsubu@mhlw.go.jp

問い合わせ先：ジョカツ部事務局

（雇用均等・児童家庭局 雇用均等政策課）

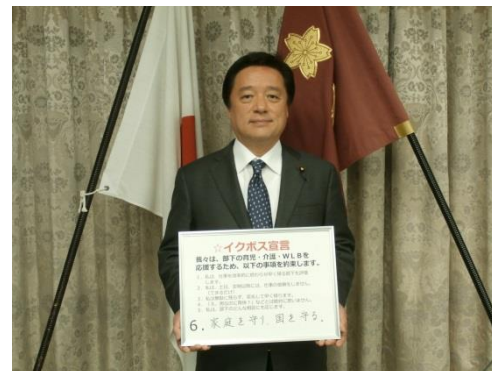
石田、旭（直通電話 03(3595)3271）



滋賀県橋川草津市長



財務省木原副大臣



防衛省若宮副大臣



総務省あかま副大臣



佐賀県武雄市小松市長



Jリーグトップ
村井チェアマン



環境省関副大臣



熊本県子ども未来課長



山梨県北杜市渡辺市長

企業の皆様からのイクボス宣言例①

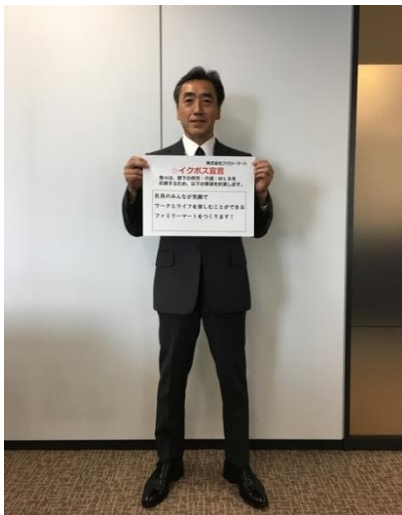
【募集】厚生労働省では、皆様からのイクボス宣言をお待ちしております。
(宣言を記入の上(様式自由)、宣言写真をご送付願います。)

「私たち管理職は、スターフライヤーらしいイクボスに向けて、ホスピタリティあふれるリーダーを目指します。」



((株)スターフライヤー 松石代表取締役社長執行役員)

「社員のみんなが笑顔でワークとライフを楽しむことができるファミリーマートをつくります！」



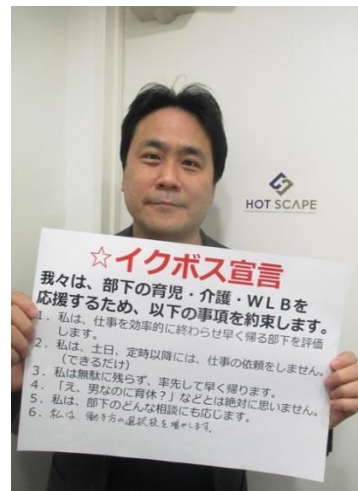
((株)ファミリーマート 澤田代表取締役社長)

「ご家族に社員の笑顔をお届けします！」



(アクセンチュア(株) 江川社長)

「私は、働き方の選択肢を増やします。」



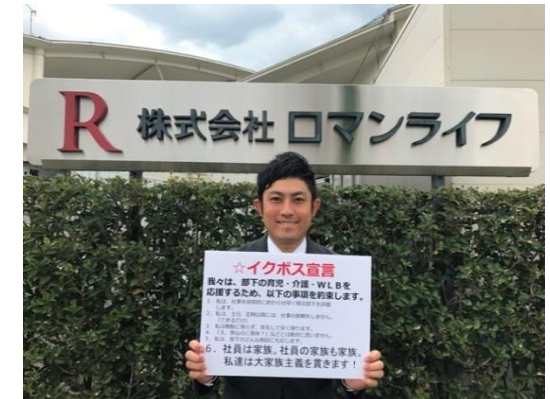
(株)ホットスケープ 前野代表取締役

「社内にイクボスブームを巻き起こし、部下のWLBを応援します！」◎株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト



((株)日立ソリューションズクリエイト 西條取締役社長)

「社員は家族。社員の家族も家族。私達は大家族主義を貫きます！」



(株)ロマンライフ 河内取締役事業部長

企業の皆様からのイクボス宣言例②

【募集】厚生労働省では、皆様からのイクボス宣言をお待ちしております。
(宣言を記入の上(様式自由)、宣言写真をご送付願います。)

「長時間労働を改善し、全ての働く人がWLBを実現し、
働きがいのある職場を実現します」



(北海道TV 樋泉社長)

「人材育成と働き方改革を全力サポートします」

MS&AD あいおいニッセイ同和損害保険



((株)あいおいニッセイ同和損保 長島執行役員)

「男女が生き生きと働ける職場にします！」



(万協製薬(株) 松浦代表取締役社長)

「私は、会社の生産性を向上させ完全週休二
日制の導入を目指します。」

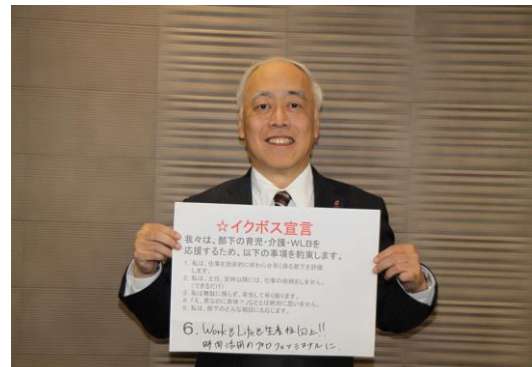


(アサヒ工業(株) 實重代表取締役)

「WorkもLifeも生産性向上！！
時間活用のプロフェッショナルに」



損保ジャパン日本興亜



(損害保険ジャパン日本興亜(株) 伊東執行役員)

「多様な人材の活躍推進を担う“イクボス”の育成強
化を図り、働きやすい環境作りや全員の意識改革、
社員一人ひとりのやりがい(活躍)を実現することで
企業力の向上を図ってまいります。」



(リコージャパン(株) 松石代表取締役 社長執行役員 CEO)

イクボス宣言が届いた機関

企業のイクボス宣言

No.	企業名
1	北海道TV
2	(株)あいおいニッセイ同和損保
3	(株)ピーススタイル
4	(株)サトーホールディングス
5	(株)損保ジャパン日本興亜
6	(株)スターフライヤー
7	アクセンチュア(株)
8	(株)日立ソリューションズクリエイト
9	(株)ファミリーマート
10	(株)ホットスケープ
11	(株)ロマンライフ
12	アサヒ工業(株)
13	西部ガス(株)
14	万協製薬(株)
15	リコージャパン(株)
16	AIGジャパン・ホールディングス(株)
17	AIU損害保険株式会社
18	AIG富士インシュアランスサービス株式会社
19	アメリカンホーム医療・損害保険株式会社
20	富士火災海上保険株式会社
21	AIGビジネス・パートナーズ株式会社
22	(株)青森銀行
23	(株)第三銀行
24	(株)ペンシル

中央省庁のイクボス宣言

No.	省庁名
1	総務省
2	防衛省
3	外務省
4	財務省
5	環境省
6	内閣府

自治体のイクボス宣言

No.	自治体名
1	滋賀県草津市
2	佐賀県武雄市
3	山梨県北杜市
4	岩手県大船渡市
5	熊本県
6	滋賀県
7	大阪府吹田市
8	石川県金沢市
9	山口県周南市

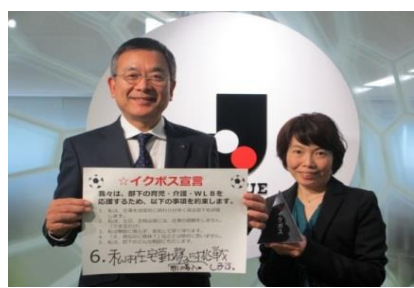
イクボス宣言(その他組織)

No.	組織名
1	Jリーグチェアマン
2	整骨院振興協同組合
3	土木学会

労働局のイクボス宣言

No.	労働局名
1	福島労働局
2	茨城労働局
3	群馬労働局
4	山梨労働局
5	長野労働局
6	三重労働局
7	島根労働局
8	徳島労働局
9	愛媛労働局
10	福岡労働局
11	熊本労働局
12	大分労働局

厚生労働省 ジョカツ部



Jリーグトップ
村井チェアマン

H23入省



熊本県子ども未来課長



NAO KASAI
(職業能力開発局総務課所属)

Q1. ジョカツ部って何ですか。

A. ジョカツ部は、女性・イクメン活躍検討チームの愛称です。
女性活躍推進について、「今何が課題で、何をどう見直したらいいか」
について考える厚生労働大臣直轄の若手有志によるチームです。
様々な部局から職種横断的に参加しています。

H20入省



ジョカツ部が企画した厚労省イクボス宣言(12月27日)



KOU KOBAYASHI
(労働基準局勤労者生活課所属)

H25入省



HITOMI KOMORIZONO
(年金局事業管理課所属)

Q2. 発足の経緯は。

A.厚生労働省は、他省庁と比べて、もともと女性が多い省庁であり、女性活躍推進に関心の高い職員も多くいます。

このため、今の子育て世代に近いメンバーの柔軟な発想で「できること」でなく「すべきこと」を考えてほしいとの思いから、厚生労働大臣が有志を集め、大臣直轄の特命チームとして設置する形で発足しています。

H19入省



MASASHI ISHIDA
(雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課)

Q3. これまでの検討とはどう違うのですか。

A.一般的な省庁の検討プロセスは、建物の中で、関係団体からヒアリングをしつつ、様々なしがらみがある中で、「今できること」を考える方法が一般的かと思います。

他方、ジョカツ部の検討プロセスは、若手なりのフットワークの軽さを生かし、霞ヶ関を飛び出して、様々な生活者の方の声を聞き、各メンバーが「今何が課題で、どう見直したらいいのか」を双方向に議論し考えます。将来的に実現することを含め、「今すべきこと」を考える検討プロセスです。

H21入省



YASUKO MIYAZAKI
(職業能力開発局能力評価課)

Q4. どんな活動をしてきたのですか。

A.昨年12月末に大臣に提言を手交するに当たっては、約60日の間に50回を超える有識者ヒアリング、勉強会、事業所訪問を行いました。子育て中のママや求職者、大学生、リクナビ運営会社、全国の女性活躍に熱心な企業、先進的取り組みを行う自治体やNPO、若手の有識者の方など、様々な方と意見交換を行ってまいりました。

これに加えて、各メンバーが家族や友達、知人など、のべ1400を超える方と意見交換を行い、そういった生活者の方の「生の声」を提言に反映させています。

H22入省



HANAKO TOMINAGA
(労働基準局労働関係法課)

Q5. イクボス宣言って何ですか。

A.イクボス宣言とは、自身が「部下や同僚等の育児や介護・ワークライフバランス等に配慮・理解のある上司」である旨を対外的に宣言することです。

これまで企業や自治体の方がイクボス宣言を行うことはありましたが、大臣がイクボス宣言を行うことはありませんでした。労働関係法令を所管する省庁として、「まずは厚生労働省が変わる、そして、各企業における働き方も変えていく。」との決意から、私たちジョカツ部が企画して(12月27日)、厚生労働大臣と有志職員によるイクボス宣言を行いました。今後は、「働きやすい職場作りに取り組んでいこう」とする意識が社会全体に広がっていくことを目指し、取り組んでいきます。

Q6. イクボス宣言の反響はどうでしたか。

私たちが企画した12月27日の厚生労働大臣と有志職員によるイクボス宣言は、多くのTV等で放映され、非常に多くの反響をいただきました。私たちが作成した「イクボス応援動画」は、他の厚労省が作成している動画の数十倍の再生回数を記録しており、また、官邸の会議でも放映させていただき、全省庁の政務の方に紹介させていただきました。

現在、ジョカツ部では、社会全体のイクボス宣言動画を作成したいと考え様々な方からイクボス宣言を募集しています。他省庁の政務の方や、自治体、企業の方など、様々な方からイクボス宣言が届いております。社会でイクボスの輪が広がっていくことを願い、取り組んでいます。

H24入省



MAO OKADA
(保険局国民健康保険課)

H19入省

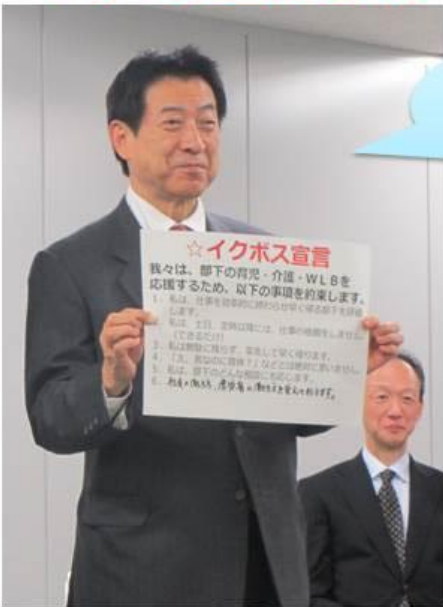


SAWAKO TAKAHASHI
(雇用均等・児童家庭局短時間・在宅労働課)

Q7. ジョカツ部が目指す今後の女性活躍の理想の姿は。

A.女性活躍は新時代を切り開く必要があると考えています。男女雇用機会均等法が施行されて30年が経過しました。女性はお茶くみ担当、結婚したら退職するものと考えていた時代は幕を閉じ、女性も積極的に社会進出してほしいと考える時代となっています。しかしながら、ただただ、活躍を期待しても、環境が整備されていなければ女性は活躍できません。女性が活躍するためには、男性が一層育児に関わることに加えて、働きやすい職場作りと子育てしやすい社会づくりが必要と考えています。私たちも積極的にかかわっていきます。

☆平成28年12月27日、塩崎厚生労働大臣がイクボス宣言を行いました☆



社会の働き方、厚労省の働き方を変えて行きます。

☆イクボス宣言

我々は、部下の育児・介護・WLBを応援するため、以下の事項を約束します。

1. 私は、仕事を効率的に終わらせ早く帰る部下を評価します。
2. 私は、土日、定時以降には、仕事の依頼をしません。(できるだけ)
3. 私は無駄に残らず、率先して早く帰ります。
4. 「え、男なのに育児？」などとは絶対に思いません。
5. 私は、部下のどんな相談にも応じます。
6. **社会の働き方、厚労省の働き方を変えて行きます。**



厚労省の有志職員もイクボス宣言！



ジョカツ部の提言手交！



厚労省の若手有志職員による「超イクメン部」発足！

12月27日(火)
「厚労省イクボスの日」開催します

※「厚労省イクボスの日」とは、「厚生労働省において部下、同僚、関係先等の職員・社員の育児・介護・ワークライフバランス等に理解のある職員を増やすとともに、日本の企業等が働きやすい職場となるよう全力を尽くすことを宣言する日」です。

10:00~12:00: (場所: 雇局局長室横の会議室 (13階))
イクボス研修 (ファザーリングジャパン)

12:10~12:50: (場所: 同上)
厚労省超イクメン部 (若手有志) 発足式

15:30~15:40: (場所: 専用第14会議室 (12階))
ジョカツ部より大臣に提言の手交
 (1400名超の生活者の声を聞き、それを踏まえ作成した女性活躍検討策を厚生労働大臣にお渡しします)

15:40~16:00: (場所: 同上)
厚生労働大臣と有志職員によるイクボス宣言
「大臣初」「霞が関初」(ファザーリングジャパン公認)
 (イクボス宣言を行った有志職員が集い、大臣とともに、イクボス宣言を行うとともに、日本の職場がより働きやすいものとなるよう全力を尽くすことを宣言します。)

※ 厚生労働省HPに、「イクボス応援動画 (完全自主制作)」の配信開始。
 「イクボス応援動画」とは、「各企業のイクボスによる働きやすい職場作りを応援する動画」です。

「ジョカツ部」は、女性活躍推進の観点から必要政策を検討する厚生労働省の若手職員による厚生労働大臣直轄の有志チームです。

ジョカツ祭り
 ！！燃えろ！！！！ 働き方改革の旗！！！！
 ！！とどろH！！つなげ！！イクボスの叫び！！

☆平成29年1月19日「イ(1)クメンイク(19)ジの日」、 「第1回パパ会&子ども参観」を開催しました☆

パパ職員が子どもを連れて集まり、日頃の育児に関する悩みや現状について話し合いました。その後、子どもと一緒に職場に向かい、上司や同僚に紹介しました。



イクメンの輪を
広げるぞー！

橋本厚生労働副大臣、堀内厚生労働大臣政務官、馬場厚生労働大臣政務官も参加しました。



厚労省の男性の育児休業取得推進
についての提言を手交しました。



イクメン普及推進動画を
厚労省HPで公開しています！ →

緊急募集！！

1月19日（木）10:30～12:00
レクリエーション室（地下1階）

先着順

※定員になり
次第終了。

1日だけ休みをとって、
子どもと一緒に「パパ会&子ども参観」やりませんか。

ジョカツ部（超イクメン部）では、イクメン育児の日に、パパ会を開催します。「パパ会&子ども参観」に参加いただける方を募集します！！

1月19日（木）は
「イ(1)クメンイク(19)ジの日」です。



参加者
募集

【日時・場所】1月19日（木）10:30頃・レクリエーション室（地下1階）
【参加対象者】（変更となる可能性あり）

3歳以下のお子さんのいる厚労省に勤めるパパなら「誰でも」
※様々な都合がありますので、パパのみの参加も可。

＜パパ会の内容＞

- ① 自己紹介、日頃の悩み、どのくらい育児・家事をしているか
- ② 日頃心がけていること（育児・家事面、妻のケア）
- ③ 地雷を踏んだ瞬間（例、飲んで帰ったら切れられた）
- ④ 厚労省のイクメンの輪をどのように広げていくか

※ パパ会は、ジョカツ部・超イクメン部が主催し、土日に公園等で定期的に開催する予定。ただし、毎年1月19日には「省内」で開催することを想定しています（国会開会前である前提）。
また、パパ会後は「希望に応じて」、ご家族とともに自分の働く職場を案内（上司・同僚等に紹介）いただくこと（「子ども参観」等）を予定しています。

写真を
募集して
います！

ジョカツ部（超イクメン部）では、イクメンを普及させていくためにイクメン普及推進動画を作成しており、その中で使用するパパと子どもが一緒に写った写真（イクメンとしての意気込みを添えて）を募集しております！！是非ともご提供をお願いします。

▶ 参加ご希望の方又は写真をご提供いただける方は、

1月18日（水）までに、下記宛ご連絡ください。照会や相談も可能です。
ジョカツ部事務局 jyokatsubu@mhlw.go.jp、中山（7844）、旭（7837）